

第43号

たいしんだより



(公社)愛知県建築士事務所協会東三河支部

令和8年1月1日



©豊橋市トヨッキー

支部長 萩本 茂夫

南海トラフ 事前避難52万人超 臨時情報「警戒」

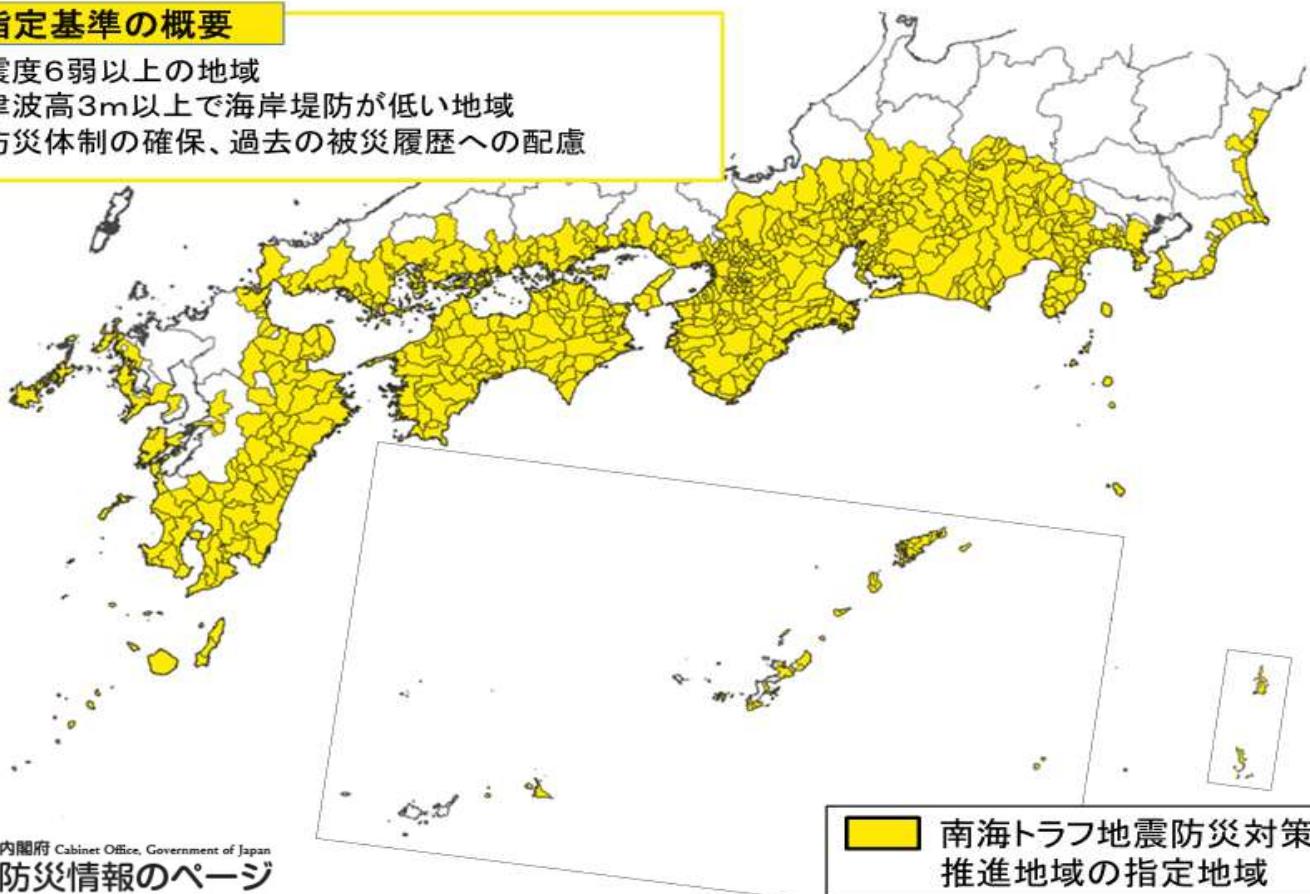
半数高齢者ら

情報の発表に伴い防災対応をとるべき地域

指定基準の概要

- 震度6弱以上の地域
- 津波高3m以上で海岸堤防が低い地域
- 防災体制の確保、過去の被災履歴への配慮

内閣府 Cabinet Office, Government of Japan
防災情報のページ



南海トラフ地震臨時情報のうち最も切迫性が高い「巨大地震警戒」が出た際、津波に備え、自治体が1週間の事前避難を求める住民が全国で**52万人超**に上ることが、国による初の調査でわかった。配慮が必要な高齢者や障害者らが半数以上をしめている。

内訳は全住民対象が約24万2100人、高齢者等対象が約27万4800人。**愛知県では6万500人**、都県別では高知が9万2100人で最も多くなっています。



事務所協会東三河支部
2次元コード

文責:萩本 茂夫